

日本先天代謝異常学会

令和元年度臨時理事会 議事録

日時：2020年2月29日(土)16:30-18:00

場所：TKP 品川カンファレンスセンター カンファレンスルーム 6E (ZoomによるWeb会議を組み合わせたハイブリッド方式)

(出席者：五十音順、敬称略)

理事：石毛美夏、伊藤哲哉、大竹明、大橋十也、奥山虎之、窪田満、呉繁夫、酒井規夫、高橋勉、中村公俊、村山圭

監事：井田博幸、鈴木康之

幹事：笹井英雄

(ZoomによるWeb参加：鈴木康之)

第1部

議事進行役として、副理事長である奥山理事より挨拶があり、臨時理事会の開催が報告された。

1. 深尾理事長のご逝去について

深尾理事長が令和2年2月11日(火)に脳出血が原因で急逝されたことが報告された。

2. 黙とう

3. 新理事長の選考方法について

前回・前々回の理事長選考と同様に立候補1名であれば信任投票、立候補が複数であれば投票によって多数決で決めることが提案された。

結果：承認

4. 新理事長の選考

立候補者は奥山理事一名であった。議事進行役として大橋理事が指名され、交代された。

奥山理事より所信表明演説として、深尾理事長の遺志をつぐことを第一に掲げ、本学会の国際的プレゼンス向上や、先天代謝異常の診療と研究ができる医師や研究者の育成、委員会活動として「患者登録制度」「臨床研究推進」「特殊検査・適正化」を推進していく旨が表明された。

今回のように現職の理事長が急逝されるという緊急事態下での理事長選挙について、現時点では会則にはこのようなケースを想定した規定がないため、今回は本理事会での話し合いで概要を決めることになり、信任投票を施行する前に以下の①～④の議論がなされた。

①新理事長の承認プロセスについて

新理事長は通常は総会で承認される。そのため、新理事長の承認プロセスについて話し合いがなされた。その結果、正式には次回の総会(2020年11月4日予定)で承認を得るが、それまでの期間においても、理事長の役職名で業務を遂行することが提案された。

②繰り上げ当選について

理事が任期中に何らかの理由で職務遂行が不可になった場合、それに伴う欠員に対しての繰り上げ当選について議論された。結果、前回の理事選挙で次点であった東京慈恵会医科大学の小林正久先生が自動で繰り上げ当選することが提案された。ただし、まだ承認前であるため今回の理事長選挙には関わらないことが確認された。

③今回の新役員の任期について

新役員(新理事長や新理事)の任期は、深尾理事長の残り任期である2022年秋の大会までということが提案された。

④事務局（会計）の移転について

事務局（会計）の所在について、理事長の変更によって銀行口座名義を含め変更が必要になる。2020年の春の理事会までは現行の岐阜大学で事務局を継続する。それまでに学会 web ページを更新して理事長変更を公的に証明し、新事務局への移転準備を進めることが提案された。

上記の①～④に関して、今回は緊急事態下における提案であり、将来的には総務委員会で討議して詳しい会則を作っていく方針となった。

結果：①～④の全て承認

上記の議論を経て、新理事長候補である奥山理事に対する信任投票が実施された。

結果：満票で信任

今回、新理事長として奥山理事が選出された。

第 2 部

奥山理事長より挨拶があった。また、理事の繰り上げ当選として東京慈恵会医科大学の小林正久先生の名前があげられ、本人に理事就任の承諾を求めることとなった。

結果：承認

1. 深尾前理事長の追悼記事について（南米先天代謝異常学会 Dr. Giugliani からの依頼）

南米先天代謝異常学会の Dr. Giugliani から深尾前理事長の追悼記事作成の依頼が来ており、井田

監事が作成されることが決定された。（ドミニカで開催予定の学術集会で、井田監事による追悼プレゼンテーションも行われる予定である。）

結果：承認

2. 各委員会の委員長、副委員長について

深尾前理事長が委員長を務めていた三つの委員会（国際渉外委員会、ICIAM 準備委員会、患者登録委員会）について、今後の方針が話し合われた。特に ICIAM 準備委員会に関しては、2025 年に日本での ICIAM 開催有無も含めて議論を今後も継続的に行っていくことが確認された。三つの委員会の新委員長については奥山理事長が任命することが確認された。

結果：承認

3. 次回、理事会の予定

次回の理事会は 2020 年 4 月 11 日（土）に開催予定となった（Web 会議の可能性もあり）。

4. その他、連絡事項

- SIMD の学術集会(4/26-4/29 テキサス州オースティン)に関して。今回は、秋田の第 61 回 日本先天代謝異常学会総会で最優秀演題賞を受賞された第一三共株式会社の伊藤健太郎先生の発表が予定されていた。同行を予定していた深尾前理事長に代わって同行する理事を今後決める。
- 海外の先天代謝異常関連学会へ理事長交代の公式連絡をおこなう。
- 深尾前理事長のご逝去に関連し、今年の第 47 回 日本マスキリーニング学会学術集会は大会長が変更となり、岐阜大学の下澤伸行先生が大会長を務めることが連絡された。